

功 績 概 要

【平成14年台風第6号による豪雨災害関係】

関係省庁	国土交通省
名 称	かわさきむらしょうぼうだん 川 崎 村 消 防 団
所 在 地	岩手県東磐井郡川崎村薄衣字諏訪前137番地
代 表 者	団 長 ひろなが つかさ 廣 長 主
功績概要	<p>同消防団は、平成14年7月の台風第6号とその影響を受けて活発化した梅雨前線の活動による豪雨により、小河川が氾濫し、また、北上川等の増水により、浸水区域が広範囲にわたるとともに、幹線道路が長時間寸断され、水防活動や救助活動等は困難を極める中で、延べ250名が出動し、被害を最小限にとどめた。</p> <p>日頃の水防訓練を生かし、昼夜を分かたず、警戒活動やポンプによる排水等を行い、被害の拡大を防止した。</p> <p>さらに、河川の氾濫により孤立した住民を舟艇により救助するなど、人的被害を最小限にとどめるとともに、食料運搬等を実施した。</p>

【平成14年台風第6号による豪雨災害関係】

関係省庁	国土交通省
名 称	はないずみまちしょうぼうだん 花 泉 町 消 防 団
所 在 地	岩手県西磐井郡花泉町涌津字一ノ町29番地
代 表 者	団 長 さとう きみお 佐 藤 公 雄
功績概要	<p>同消防団は、平成14年7月の台風第6号とその影響を受けて活発化した梅雨前線の活動による豪雨により、小河川が氾濫し、また、北上川等の増水により、浸水区域が広範囲にわたるとともに、幹線道路が長時間寸断され、水防活動や救助活動等は困難を極める中で、延べ300名が出動し、被害を最小限にとどめた。</p> <p>日頃の水防訓練を生かし、昼夜を分かたず、土のう積みやポンプによる排水等を行い、被害の拡大を防止した。</p> <p>さらに、河川の増水により孤立した住民を舟艇により救助するとともに、住民の避難誘導を的確に行い、人的被害を最小限にとどめた。</p>

功 績 概 要

【平成14年台風第6号による豪雨災害関係】

関係省庁	国土交通省
名 称	ひがしやまちょうしょうぼうだん 東 山 町 消 防 団
所 在 地	岩手県東磐井郡東山町長坂字西本町105-1
代 表 者	団 長 お ば ら み つ の り 小 原 師 祝
功績概要	<p>同消防団は、平成14年7月の台風第6号とその影響を受けて活発化した梅雨前線の活動による豪雨により、砂鉄川等が氾濫し、浸水区域が広範囲にわたるとともに、幹線道路が長時間寸断され、水防活動や救助活動等は困難を極める中で、延べ570名が出動し、被害を最小限にとどめた。</p> <p>日頃の水防訓練を生かし、昼夜を分かたず、土のう積みやポンプによる排水等を行い、被害の拡大を防止した。</p> <p>さらに、河川の増水により孤立した住民を舟艇により救助するとともに、住民の避難誘導を的確に行い、人的被害を未然に防止した。</p>

【平成14年台風第6号による豪雨災害関係】

関係省庁	国土交通省
名 称	ふじさわちょうしょうぼうだん 藤 沢 町 消 防 団
所 在 地	岩手県東磐井郡藤沢町藤沢字町裏105番地
代 表 者	団 長 ち ば け い し 千 葉 啓 志
功績概要	<p>同消防団は、平成14年7月の台風第6号とその影響を受けて活発化した梅雨前線の活動による豪雨により、小河川が氾濫し、また、北上川等の増水により、浸水区域が広範囲にわたるとともに、幹線道路が長時間寸断され、水防活動や救助活動等は困難を極める中で、延べ710名が出動し、被害を最小限にとどめた。</p> <p>日頃の水防訓練を生かし、昼夜を分かたず、土のう積みやポンプによる排水等を行い、被害の拡大を防止した。</p> <p>さらに、河川の増水により孤立した住民を舟艇により救助するとともに、住民の避難誘導を的確に行い、人的被害を未然に防止した。</p>

功 績 概 要

【平成14年台風第6号による豪雨災害関係】

関係省庁	国土交通省
名 称	みずさわし しょうぼうだん 水 沢 市 消 防 団
所 在 地	岩手県水沢市大手町一丁目1番地
代 表 者	団 長 たかはし せい 高 橋 整
功績概要	<p>同消防団は、平成14年7月の台風第6号とその影響を受けて活発化した梅雨前線の活動による豪雨により、小河川が氾濫し、また、土砂崩れなどが発生し、幹線道路が寸断され、水防活動や救助活動等は困難を極める中で、延べ654名が出動し、被害を最小限にとどめた。</p> <p>日頃の水防訓練を生かし、昼夜を分かたず、土のう積みやポンプによる排水等を行い、被害の拡大を防止した。</p> <p>さらに、河川の増水により堤防決壊のおそれがあるなか、住民の避難誘導を的確に行い、人的被害を未然に防止した。</p>

功 績 概 要

【海難救助関係】

関係省庁	国土交通省
名 称	いばらきけんすいなんきゅうさいかい く じ し ぶ きゅうなんしよ 茨城県水難救済会久慈支部救難所
所在地	茨城県日立市久慈町 1 - 1 - 2
代表者	救助長 <small>たけなか まさみち</small> 竹 中 正 道
功績概要	<p>同救難所は、平成14年8月28日、茨城県日立市河原子南海岸で水遊びをしていた高等学校の教師と生徒4名が大波にのみ込まれ、そのうちの生徒1名が沖合に流され、行方不明となった事故に際し、台風第15号の影響による激しい風浪の中、救助はおろか自船の遭難の恐れがあったにも拘わらず、救助長以下6名が一致協力して生徒を救助した。</p> <p>甲板上においては波浪6メートルという困難な状況下、巧みな操船技術によって船体やプロペラと生徒との間隔に気を配りつつ救助の機会をうかがい、長時間に及ぶ漂流により大量に海水を飲んで衰弱しきった生徒を無事救助した。</p>